

# 柏原城跡(狹山市)

かしわばらじょうあと

築城年代:天文12年(1543年)、築城者:上杉憲政

正面が柏原城跡を利用した城山公園/北側から南方向に見たところ



柏原城跡は城山砦跡とも呼ばれる/正面の左手が本郭のエリア、右手には二の郭、三の郭のエリアという構成になっている



左手の本郭のエリア



右手の二の郭、三の郭(二の郭の更に右手)のエリア



正面に説明板が立っている





「狭山市指定文化財 史跡 城山砦跡入口」とある



# 城山砦跡

しろやまとりであと

市指定文化財 史跡

所在地 狭山市柏原二三四六番地ほか

指定年月日 昭和四十八年（一九七三）三月一日

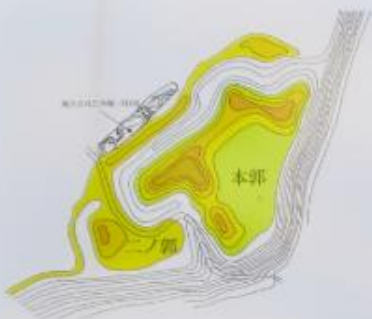
城山砦跡は、江戸時代後期の書物の『新編武蔵風土記稿』によると、天文年間（一五六七～一五七〇）に山内上杉憲政が、後北条氏に奪われた川越城を奪還すべく包囲した際にここに陣を敷いたとされており、江戸時代後期には「上杉砦」と呼ばれ、既に四段程の遺構しか残っていない、と書かれています。

現存する面積は約七、〇〇〇㎡で、入間台地のやや舌状の部分にあり、沖積面から約十m上の河岸段丘に、東から本郭、二ノ郭と造られています。本郭は崖面以外を高さ約三mの土塁で囲われ、その外側には現存する深さが約三mの空堀があります。また、その更に外側に、高さ約二mの土塁状の高みが今でも確認できます。二ノ郭は、土塁の残存と考えられる高みの上に、現在は稲荷社が祀られています。西側には深さ約二mの堀が残っており、狭いながらも郭を構成していたことがわかります。

平成十年度に本郭周囲のほ場整備に伴って発掘調査が行われ、最も外側の土塁状の高みの外に、更に深さ三m程の堀が検出されました。堀の底や壁には、堀を掘ったときについたと考えられる鋸の痕も残っていたため、砦は、造られて間もなく放棄された可能性が出てきました。検出された堀は保存するために埋め戻され、現在は道路になっています。

平成十八年度に、学術調査のために行われた本郭の内側の空堀の調査では、現況より更に約二m深く掘られている形跡が確認されました。また、深い堀が崩れないように押さえるための修復したような跡も検出されました。さらに、平成二十二年度の小口部分の確認調査では、中世のカワラケ（小皿）の小破片が出土しています。

平成二十六年二月



ここでは柏原城は「城山砦」と表記されている



赤字の㊦のところを上記の写真の場所で、「**現在地**」と記されたところは南側の崖下にあたる場所(すぐ近くを入間川が流れる)/二の郭には稲荷神社が祀られている/なお、上記の説明板は最近立てたもののように、この概略図にある「三の郭」という表記は見当たらない



この正面やや左手の道を下がって行くと「**現在地**」と記された南側の崖下にあたる場所に出る



左手のこちらが本郭エリアで説明板の背後は本郭を囲む空堀となっている



空堀の外はこのような土塁跡が残っており、この道路が圃場整備に伴う発掘調査時に深さ3m程の堀が検出されたところのようだ



これは反対側の二の郭、三の郭方向を見たところ



正面は二の郭のエリア/土塁のような高まりの上に稲荷社が見える



この窪みは二の郭(左手)と三の郭(右手)との間の堀跡のようだ



稲荷社





堀跡を反対側から見たところ



三の郭から稲荷社を見たところ









こんな感じの高まり



稲荷社から三の郭方向を見たところ



これが三の郭のエリア





三の郭エリアから二の郭、本郭方向を見たところ



こんな感じ



さて、この道を下がって行くと「**現在地**」と記された南側の崖下にあたる場所に出るのだが左手に本郭を囲む空堀が見える



右手を見ると二の郭にある稲荷社が見える



振り返って説明板の立っている方向を見たところ/右手に本郭を囲む空堀が見える



さて、この道を少し南方向に下って行くと前方に本郭が見えてくる



正面前方が本郭でこの手前の部分は土橋/左手は本郭を囲む空堀/南側の崖下への道は右手に曲がって下っている



ここは虎口ということになるのか





ここが本郭



さて、ここではまず南側の崖下への道を下りて行ってみよう





ここが「**現在地**」と記された南側の崖下にあたる場所で、柏原城跡の城山を見上げたところ



左手を見たところ



右手を見たところ



ここにも説明板が立っている







さて、この道に戻って本郭を見てみよう



登って行く途中から見た二の郭(左手)/右手は本郭のエリア



左手が二の郭/正面と右手は本郭のエリア/前方に本郭を囲む空堀が見える(その手前が本郭への土橋の部分)



これは左手の二の郭/正面前方に稲荷社が見える



さて、ここが本郭/西側から東方向に見たところ/周りを土塁が囲み、その外側に空堀が本郭を囲む



反対に東側から西方向を見たところ/正面中央に土橋への虎口が見える



右手が虎口部分/左手前方に窪みのようなところが見える



この部分





その先を見ると斜面となって一段下がったところに小さな平場がある



こんな感じ



振り返ってその窪みのところを見上げたところ



平場から二の郭方向を見たところ



南側の崖下の説明板があった辺りを見下ろしたところ



さて、本郭を囲んでいる土塁を東側から西側へと歩いてみよう/右手は先程来の虎口と反対側にある虎口状の窪み



そこへ行って本郭方向を見たところ/右手に土塁が西方向へ延びている



その土塁の上を進んでみる/左手は本郭、右手は空堀になる





右手の空堀を見たところ/空堀の向こうにも低い土塁がある



左手の本郭を見たところ



更に土塁の上を西方向へ進む



右手の空堀とその向こうの低い土塁が見てとれる



ここで土塁が止まっている



この土塁の先端には空堀とその向こうに稲荷社のあった二の郭が見える



その空堀に下りて二の郭方向を見上げたところ/最初に見た説明板が立っている



左手(南方向)を見たところ/前方から右手にかけては二の郭





この空堀を右手に進んで東方向を見たところ/右手が本郭、左手は低い土塁



更に空堀を東方向へ進む



右手の本郭を見上げたところ



更に進むと左、右とやや曲がっている



そこで振り返って歩いて来た方向を見たところ



更に進むと右手(南方向)へ曲がっている



右手に曲がったところで振り返る/左手が本郭



足元を見ると石積みがされていたのか石材が散見される





そして南側の突き当りはこのような右手(本郭)と左手(外部)との土橋のようにになっている



こんな感じ/この先は南側の崖下へと下っている



その土橋から本郭方向を見たところで、正面が本郭からの虎口状の窪みだったところ/左手は崖となっている



これは振り返って外部方向を見たところ/こちらへ行ってみよう



外部の辺りから土橋、本郭への虎口方向を見たところ



ここがその外部で本郭から虎口へ進むとこの看板のあるところに出てくる/右手へ空堀の外側の低い土塁が曲がりながら西方向へ道路に沿って延びている



こんな感じ



道路から空堀を覗き込んだところ





北側の状況/低い土塁が前方(西方向)へ延びている/この道路が圃場整備に伴う発掘調査時に深さ3m程の堀が検出されたところ



左手の空堀とその向こうの本郭を囲む土塁を見る



空堀の外側の低い土塁



振り返って見たところ



## 参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/282kashiwabara/kashiwabara.html>

<http://ckk12850.exblog.jp/2020801/>

<http://ameblo.jp/napo-jou/entry-11614996342.html>

<http://blogs.yahoo.co.jp/s04hi992ma/17184680.html>

<http://www.city.sayama.saitama.jp/manabu/rekishi/siteibunkazai/siroyama.html>

[http://gi001.gokenin.com/tanbou/11\\_saitama/02\\_iruma/004\\_sayama/sayama.html#kashiwabara\\_jou](http://gi001.gokenin.com/tanbou/11_saitama/02_iruma/004_sayama/sayama.html#kashiwabara_jou)

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/subdir-siropage/kasiwabaraiou.html>

<http://joukan.exblog.jp/15921946/>

<http://blogs.yahoo.co.jp/nosaihistory/13435799.html>

<http://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/425361c14b85d4086bc63fd1b1279bdb>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/9bc4b7926d528085d8d51d6fb521cdd9>

<http://www.ac.auone-net.jp/~kojyou/siroyamatoride.htm>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/sayamasi.htm>

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/saitama.iruma.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~ju8t-hnm/Shiro/Kantou/Saitama/Sayama/index.htm>

<http://hya34.sakura.ne.jp/iruma/kasiwarazyou/kasiwarazyou.html>

[http://natchdes3.blogspot.jp/2015/02/blog-post\\_11.html](http://natchdes3.blogspot.jp/2015/02/blog-post_11.html)

<http://blog.goo.ne.jp/mikazukibori/e/bf0f40924ed0a3c6d6d2c2d439d316bb>

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Kan/castles/kasiwabara/>

<http://www.obayoshi30.com/Kashiwabarajo.html>

<http://www012.upp.so-net.ne.jp/tomi-s/siroyama/siroyama.html>

<http://blog.doukan.jp/article/92898673.html>

